

2016年2月号
Vol. 26

発行／公益財団法人千葉県文化振興財団 文化振興グループ
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号
TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail kikaku@cbs.or.jp



日本には、世界を舞台に活躍するアーティストや文化芸術活動に参加している市民の方など、たくさんの実演芸術家があります。しかし、それを支え、公演を運営実施することができる人材（アートマネジメント人材）が海外に比べ、不足しているといわれています。

財団では、このようなアートマネジメントを実践できる人材を養成していくために、様々な大学と連携し、次代を担う若者が文化芸術の振興に関わり、学ぶことのできるプログラムを行っています。今回は、千葉大学及び千葉商科大学と連携し取り組んでいるプログラムを紹介します。

千葉大学『見る、知る、伝える千葉～創作狂言プロジェクト』



大学での授業風景

千葉大学普遍教育の「伝統文化をつくる」という授業の中で、県内の民話や風習などを題材に狂言を創作するプロジェクトを行っています。

授業には財団職員と狂言師が講師となり、学生たちはチラシやSNSを利用した広報手段や公演運営の方法、台本の作成、小道具・衣裳の製作、舞台での演技などを学びます。そして、創作した狂言は、実際に舞台の上で上演されます。

これまでに、千葉笑い（千葉市）、羽衣伝承（千葉市）、鬼来迎（横芝光町）、ヤマトタケル伝承（千葉県広域）、八幡の藪知らず（市川市）を題材にした狂言を授業の中で創作し、公演を行ってきました。

今年度は市川市本八幡に実際存在する「八幡の藪知らず」を題材に、創作狂言「やぶしらず」を行いました。

この授業を通し、学生たちは公演の制作から当日の運営までの業務に携わり、アートマネジメントの基礎を学んでいます。



公演で使用する衣裳・小道具をつくりました



公演に関するパネルを作成し、ロビーに展示しました



学生制作のチラシ

千葉商科大学『学生インターンシップ（就業体験）』



会館窓口での受付業務

毎年、千葉商科大学からは、サービス創造学部の学生のインターンシップを受け入れています。学生たちには、舞台上での準備・設営体験や会館の受付窓口でのチケット販売・お客様対応、主催公演でのお客様対応など、財団のさまざまな業務を体験してもらっています。

今年度も5日間の日程で、3人の学生が財団の業務を体験しました。

インターンを終えた学生は、「普段は表から見ている舞台を、裏側から見ることができ、勉強になりました。」「実際にお客さまと接したことで、安全面の大切さを実感しました。」など、普段は見ることのできない文化会館の業務に触れてもらっています。



舞台上での作業

コンサートやお芝居の前など劇場で友人や家族と待ち合わせをする際、LINE や Twitter などの SNS を活用されている方も多いと思います。千葉県文化会館と千葉県東総文化会館では、お客様が開演までの時間を有意義にお過ごしいただけますよう、「FREESPOT (フリースポット)」を設置いたしました。

スマートフォンやタブレットなどの Wi-Fi 対応端末をお持ちであれば、ロビー周辺で公衆無線 LAN (Wi-Fi) をご利用いただけます。

利用方法につきましては事務室でご確認いただくか、ロビーの掲示をご確認ください。



水彩アカデミーから生まれた「彩の会」

千葉県東総文化会館



千葉県東総文化会館では、文化芸術に気軽に触れることができる場として芸術体験講座を実施しています。これまで、木版画、押し花、水彩画、トールペイント、絵手紙など、さまざまなジャンルを取り上げてきました。

平成25年度実施した「水彩画アカデミー」に参加されていた皆さんが、会館での講座をきっかけに「彩の会」という新たなサークルを自主的に立ち上げました。旭市の「働く婦人の家」で、毎月2回教室を開き、同じ趣味を持つ仲間として交流を深めています。

今回、東総文化会館のギャラリーで、「彩の会」の皆さんが描きためた作品を展示し、美しい透明水彩の魅力があふれる風景画や静物画が、来館者の目を楽しませました。

講座を通じて新しい文化団体が誕生したことは、地域文化芸術活動の活性化にもつながり、大変喜ばしいできごとです。

それぞれの教室から巣立った皆さんが、これまで以上に美術への興味と関心を高め、文化の輪を広げていただければ幸いです。

4度目の共演に向けて

千葉県少年少女オーケストラ

結成20周年の記念公演となる定期演奏会では、指揮者の下野竜也氏をはじめ多くの方々と共演します。その中から、今回で4度目の共演となるバリトンの福島明也氏からメッセージをいただきました。

Message

千葉県少年少女オーケストラの皆様、20周年おめでとうございます。

皆様とは佐治先生を通して縁を結ばせて頂きました。

普通のオーケストラでもなかなか取り上げない曲や大編成の曲をご一緒させて頂き、いつも見事な演奏でなんなくこなしてしまう若い才能の集まりに毎回驚いています。

一途に一心不乱に音楽の本質に迫る若い音楽家達が、素晴らしい先生方のご指導により長年続いている事がとても嬉しい私です。

今回も素敵な若いエネルギーを沢山浴びて、私も一緒に演奏に注ぎ込みたいと思います。

これからも伝統を受け継いで更なる歴史を作っていかれまます様に祈念いたします。

福島明也 (バリトン)

【編集後記】

2016年が始まりました。今年も、千葉県文化会館、千葉県東総文化会館ともに、皆さんに楽しんでいただくことのできる公演を開催していきます。

ホームページや facebook 等を活用しての、リアルタイムな情報も更新していきますので、そちらもぜひご覧ください。